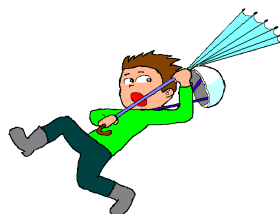


## 「常識を疑え」－野球編－



拝復 二週間のご無沙汰でした。台風 15 号は 関東地区にも大きな被害をもたらしました。長らく首都圏に住んでいますが、これほど大きな台風の直撃は記憶にありません。通過中の 1 時間は呆然と外を眺めていました。自然の驚異には購い様がない。それにしても今年の日本の自然は激烈です。一方、欧米は金融危機。これは人間が作りだした「通貨統合」と「金融工学」という化け物に振り回されています。マルクスの世界のほうがよかったのか。根源的な問いです。

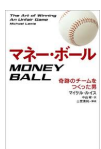
さて、今号のお題は「常識を疑え」－野球編－と題してお送りします。残念ながら野球に全く興味も知識もない方には面白くもなんともなくないお題です。その場合は申し訳ありませんがスルーしてください。

最近とても面白い本に出会ったのです。「9 回裏無死一塁でバントはするな」鳥越規央著 祥伝

文句なしに面白い！野球ファン必見！→



社文庫 760 円（税別）。副題－野球解説はウソだらけ－。野球ファンの私には文句なしに面白かった。今回はこの本の面白さをご紹介します。偶然ですが 11 月にブラッド・



←ブラビがずいぶん地味な役に挑戦します。

ピット主演で「マネーボール」と言う映画が紹介されます。これについては一度ここでも取り上げました。よろしければ <http://r-research.co.jp/pdf/nl25.pdf> をご覧ください。メジャー1 番の貧乏球団が「セイバーメトリクス」を元に安い選手をドラフトし、一流の選手に育て上げ、フリーエージェントで高く売る。それでいてチームは常に優勝争いをする。ビジネスモデルでもある。巨人のオーナーとは全く逆です（笑）。

「あなたがプロ野球チームの監督であったとする。1 点差で負けている 9 回裏

**ノーアウトランナー1 塁の場面でどんなサインを出しますか？**。私は当然、「送りバント」を選択します。もちろん打順は考慮に入れます。さすがにラミレスにバントを指示するのは躊躇します。とてもバントが上手だとは思えない。著者はここで「セイバーメトリクス」という新しい概念を紹介します。野球の試合においてはセオリーとされている事柄はたくさんあります。アナウンサーや解説者がそういうから、そういうものだと思っています。しかし、それらの戦術は果たして合理的な理由があるのか。こうした疑問にデータ、統計学的な観点から検証するのが「**セイバーメトリクス**」という方法論です。あるプレーや選択が得点、ひいてはチームの勝利に結びついたのかを数値で表します。

冒頭の問い「1 点のビハインド、9 回裏ノーアウト 1 塁」。高校野球だったら間違いなくバント。ワンアウト 1 塁でもやるかもしれない。解説者は「ここは当然バント、得点圏にランナーを置くことが大事です」と間違いなく言う。考えてみると犠牲バントですから、相手にただで一つのアウトを進呈してしまうことにはなるのです。野球と言うゲームを定義して見ると「**27 個目のアウトをとられる前に相手よりも 1 点でも多く得点を取る**」ゲームです。まずはこれをご覧ください。

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回
ノーアウトランナー1 塁	47.6%	47.4%	47.0%	46.4%	45.6%	44.2%	41.9%	38.0%	32.1%
ワンアウトランナー2 塁	46.2%	45.9%	45.4%	44.7%	43.7%	42.0%	39.4%	35.1%	28.4%

(2004 年～2009 年のプロ野球全データから作成)



9 回裏、でバントをしてしまうと勝利の確率が 3.7% も下がってしまいます。その他の全ての回においても犠牲バントでランナーを 2 塁に置く方が勝利の確率を落とします。ちょっと目からうろこです。まず同点が勝利へのセオリーではない。これはおそらく消極的な選択で、バントをしないで強攻策に出てゲッターを取られる最悪のケースを恐れているのではないのでしょうか。勝利の確率はイニングが進むにつれて落ちます。これは同点時でも同様です。では、バントをすれば勝率が上がる状況があるのか。実は 1 つだけあります。

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回
ノーアウトランナー2 塁	60.9%	61.5%	62.4%	63.4%	64.9%	67.0%	69.9%	74.0%	78.3%
ワンアウトランナー3 塁	59.2%	59.8%	60.6%	61.7%	63.1%	65.2%	68.2%	72.7%	79.1%

ノーアウトランナー2 塁ではバントをして1アウトランナー3 塁にしたほうが勝率が上がります。これはヒットだけではなく、**外野フライ、バッテリエラー（暴投、パスボール）等の得点の選択肢が増えるからでしょう**。特にプレーのレベルが低い高校野球などでは鉄則と言えるかもしれません。

二つの表を見て言えることは、「アウトを一つただであげるバントは必ずしもセオリーではない」。う〜ん。一方、ピッチャーの心理としては、ちょっとほっとするらしい（笑）。「アウトカウントが一つ増える」「1 塁があくので四死球のリスクを考えずに投げられる」と言います。そう言えばセイバーメトリクスが普及しているメジャーではバントはほとんど見ない。大雑把なプレー



をしているのではなく、確率でプレーしているのです。

目からうろこが落ちましたでしょうか？二番目、ありそうな解説です  
実況「あー、先頭打者を歩かせてしまいました」

一番好きな解説者は江川卓氏、彼は結果論を言わない

職業としての  
プロ野球解説者

解説「だめですねー。これはヒットでランナーを出すよりも悪いですよ」

ヒットも四死球もランナーを 1 塁に出すことには違いがありません。でも、この解説、私もよく耳にします。確かに四死球を出すことは悪い。しかし打たれないようにきわどいコースをつくのはピッチャーとしては当たり前のことだし、四死球を避けるためにど真ん中を投げては長打を食らうのは本末転倒。これも早速データを見ましょう。

	出塁数	生還数	生還率
2009年	3391	1191	35.1%
2008年	2820	1010	35.8%
2007年	2822	928	32.9%
2006年	2829	1020	36.1%
合計	11862	4149	35.0%

	出塁数	生還数	生還率
2009年	1170	397	33.9%
2008年	1086	388	35.7%
2007年	1117	367	32.9%
2006年	1015	359	35.4%
合計	4388	1511	34.4%

一言で言うと、ヒットで出たほうが生還率は高い。だが微差であるので統計的に見た場合には「ほとんど違いがない」。あらら、前述の解説者はこの数字を見てどう弁明するのでしょうか。「守る側のリズムが悪くなる」これもよく聞きますね。守る側のリズムって何でしょう？

三つ目、バッティングカウントはあるのか？

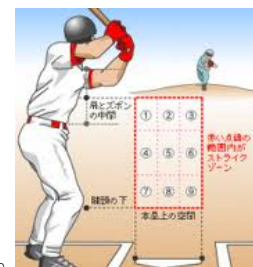
解説「3 ボールですからここは1 球見るべきですね」ボールカウント別の打率をご覧ください。カウント別の打率を見ます。

ボールカウント別の打率とバッティングトライ率

カウント(B-S)	3-0	3-1	2-0	2-1	1-0	0-0	1-1	1-0	2-3	2-2	1-2	0-2
打率	.419	.369	.364	.354	.348	.339	.332	.318	.235	.200	.181	.149
トライ率	8.5%	51.0%	36.6%	59.6%	42.1%	28.9%	54.5%	41.5%	78.2%	88.0%	90.0%	80.9%

なんと 3-0 からの打率は.419。3-1 よりも 5 分も高い。トライ率とはバットを振った割合。ただ 1 球待つのではなく、自分の好きな球だけを打てばよい。単なるウェイティングは意味がないこととなります。これも 3-0 から打って凡打をすると咎められがち、という心理的な行動といえるでしょう。バッティング上位はいずれもボール先行。それに続くのが平行カウント。2 ストライクを取られると打率は急降下します。0-2 の時にはなんと.149 しかないのです。いかにピ

2 ストライクを取られると打者のトライ率が跳ね上がります。ピッチャーとしてはギリギリのくさいところを 3 球投げられます→



ッチャー」にとってストライクを先行させることが重要かよく分かります。

ここではこの三つしかご紹介しませんが、その他にも、

- ・ 「左打者には左投手が有効」は本当か
- ・ ノーボール 2 ストライクの後には 1 球外すべきなのか（上の表では無意味です）
- ・ 敬遠して次のバッターと勝負は本当に有効か
- ・ 1 塁にヘッドスライディングをすることは有効か
- ・ 高校野球はスポーツか、教育か

私はこの試合を見ていましたが 9 回にすっぱりと岩瀬投手を投入した手腕を見て、初めて落合監督の凄さを知りました→



- ・ パーフェクトゲーム目前で落合監督の投手交代は正しかったのか
- ・ 江夏の 21 球をデータで紐解く

など全部で 21 の常識を喝破します。野球が大好きなあなた、今すぐアマゾンでクリックです(笑)。

次回は 10 月中旬。テーマは「若者への資産移転」。震災以降当業界もまともに打撃を食らっております。プレスト、コンペ、単なる相談、なんでも結構です。声をかけて下さい。m(\_)\_m

ブログも毎日更新しています！(週休二日で)(笑)。 <http://rresearch.blog103.fc2.com/>

株式会社アール・リサーチ 〒185-0023 東京都国分寺市西元町 2-16-18 日建工事第一ビル 302

Tel : 042-300-0533 mobile : 090-7428-8999 mail : [ryubon@kkd.biglobe.ne.jp](mailto:ryubon@kkd.biglobe.ne.jp)